

# おもしろ算数 208 (小6年生)

(このページは、ちよくせつにゆうりよく直接入力できません。 いんさつそのまま見るか、つか印刷してもらって使ってね!!)

小学校6年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 208 は、「場合の数」の問題です。



【問題】

0、1、2、3 のカードが1枚ずつあります。

4枚のカードから3枚のカードを選んでできる3ケタの偶数は、全部でいくつあるでしょう。

【自分の考え】

(答え)

答え. 全部で 10 通りあります。

はじめに、3枚のカードを並べてできる3ケタの整数をすべて考えます。

番号	百の位	十の位	一の位	偶数に○
1	3	2	1	
2	3	2	0	○
3	3	1	2	○
4	3	1	0	○
5	3	0	2	○
6	3	0	1	
7	2	3	1	
8	2	3	0	○
9	2	1	3	
10	2	1	0	○
11	2	0	3	
12	2	0	1	
13	1	3	2	○
14	1	3	0	○
15	1	2	3	
16	1	2	0	○
17	1	0	3	
18	1	0	2	○

つぎに、できた3ケタの整数の中で、偶数になるものをチェックします。

そうすると、偶数になる3ケタの整数は、10個になります。

※場合の数の問題では、落ちや重なりがなくすべての場合を考えることが大切です。

そのためには、表を使ったり、じゅけいず樹形図をつかったりして考えてみて下さいね。